

傳く、頂に兩刺あり、秋後兩裂すれば二子あり、麥粒の如し、至て堅硬、是其雌一種花實なき者あり、是其雄なり、又一種其葉稍圓く木の形狀尋常の者に異ならずして、枝條に全く圓實の如き者生ず、其色初淺綠、後褐色、其中空虛、亦蟲を生ず、即蟲窠なり、綱目蜚蟲附録に、嶺南有蚊子木と云ふ者なり、

〔地錦抄〕五 榼ひよん もちの木の葉のちいさきもの也